

DENSO

株主のみなさまへ

**第94期
中間事業報告書**

2016年4月1日～2016年9月30日

株式会社デンソー

(証券コード 6902)

ごあいさつ

取締役社長 有馬 浩二



株主のみなさまには、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は2015年に、2018年を達成年度とする中期方針をまとめ、取り組みを開始しました。自動車業界を取り巻く環境変化が激しい中においても、これまで以上にスピード感を持って、「環境、安心・安全」「市販・新事業」「海外市場」の注力分野に取り組むことで、広く社会に貢献するという使命を果たしてまいります。特に重要課題として取り組んでいる、自動運転につながるADAS（高度運転支援システム）分野での技術開発をはじめとして、事業を通じて社会課題を解決し、企業価値の向上を実現してまいります。

2016年度第2四半期の業績は、生産増加や拡販があったものの、円高の影響により、売上収益は2兆1,769億円、営業利益は1,427億円と減収減益となりました。通期の見通しについては、売上収益は4兆3,800億円、営業利益は2,900億円を見込んでおります。

株主のみなさまへの利益還元は、当第2四半期末の配当金について、当初の予想通り1株当たり60円、通期では120円を予定しております。今後も株主のみなさまへの利益還元のため、一層の努力を重ねてまいります。

引き続き、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

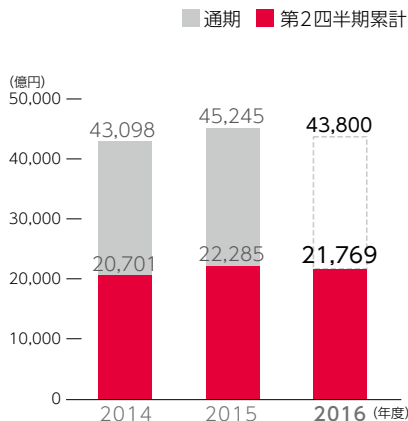
2016年11月

連結業績ハイライト

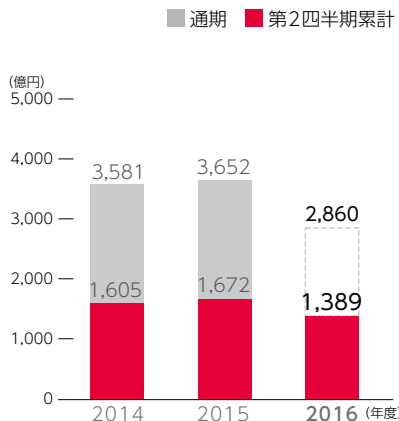
国際会計基準(IFRS)に基づいて作成しています。
 なお、2016年度通期は見込みを記載しています。

* 親会社の所有者に帰属

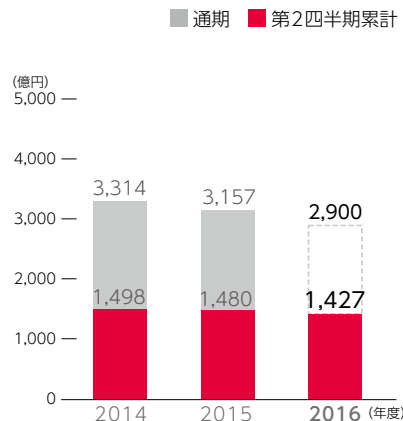
売上収益



営業利益 (除くその他収支)

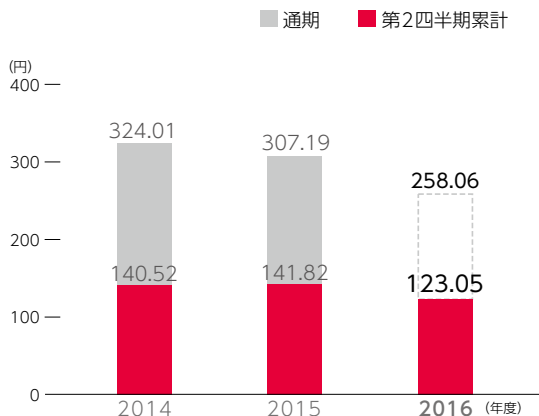


営業利益

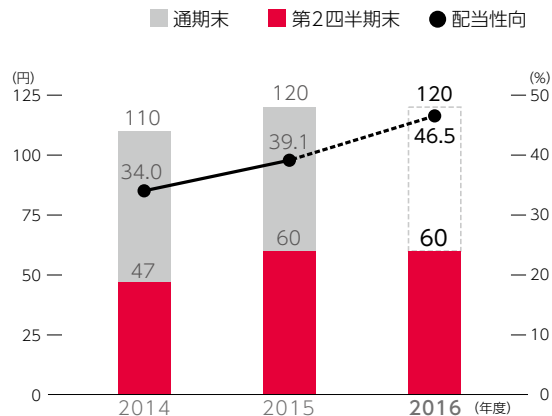


ポイント | 生産増加や拡販があったものの、円高の影響により、減収減益となりました。

1株当たり四半期(当期)利益*



1株当たり配当金/配当性向



ポイント | 連結業績および配当性向・配当金額等を総合的に勘案しながら、長期安定的に配当水準を継続的に向上させてまいります。
 また、内部留保については、今後の事業成長を長期的に維持するための投資(設備、研究開発、M&A等)に活用するとともに、資金等状況を考慮の上、自己株式の取得にも充当してまいります。

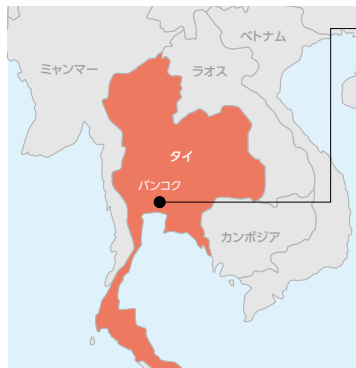
1 国際学会IEEEにおいてメダルを受賞

クリーンディーゼル車の普及拡大に大きく貢献するコモンレールシステムを、世界で初めて実用化したことが高く評価され、世界最大の電気・電子分野の国際学会であるIEEEにおいて、IEEE Medalを受賞しました。当製品は、ディーゼル車の課題であった黒煙排出やエンジン騒音などを大きく低減することで、従来のマイナスイメージを塗り替え、特に欧州におけるディーゼル乗用車のシェアの大幅な拡大に貢献しました。今後も、世界各国の排ガス規制の強化や省燃費ニーズの高まりに対応すべく、燃料噴射の高圧化・高精度化の研究開発とともに、各地域のニーズにあった製品を世界中のお客様に提供していきます。



2 車載ソフトウェアの開発強化に向けタイで合併会社を設立

エンジンECUの開発強化のため、豊田通商株式会社とタイ・バンコクにソフトウェア開発を行う合併会社を設立することに合意しました。CO₂削減や燃費規制が強化され、より高度で複雑なエンジン制御が求められる中、ソフトウェアの開発強化が課題となっています。今回の合併会社では、現地の優秀なエンジニアの採用によりグローバル開発体制の一層の強化を図ります。そして、多種にわたるECUの開発に備え、ソフトウェアの標準化を行い、開発の効率化、およびスピードアップを狙います。



TDET TOYOTA TSUSHO DENSO ELECTRONICS (THAILAND) Co., Ltd.	
設立年月	2016年11月(予定)
資本金	2,000万バーツ(約7,000万円)
出資比率	DENSO INTERNATIONAL ASIA PTE., LTD. 51% Toyota Tsusho Electronics (Thailand) Co., Ltd. 49%
従業員数	約30名(2016年度)

3 半導体式熱流センサー「RAFESPA」を発売

将来の工場向けIoTのキーデバイスとしても期待が大きい、熱エネルギーの流量と方向を検知する高感度で薄型の熱流センサー「RAFESPA(ラフェスパ)」を発売しました。独自の多層基板工法をベースに、センサー部に半導体を高密度に実装することにより、他社製に比べ、4倍以上の感度(当社調べ)を達成し、自動車・住宅・家電等の幅広い分野での熱エネルギーの解析に使用されています。現在、工場設備の故障予兆診断、および設備動作の見える化によるサイクルタイムの大幅な短縮を目指し、設備組み込み型熱流センサーの開発を推進しています。



4 社外連携強化により、安心・安全分野での開発を加速

デンソーは、世界中のすべての人にとって安心で安全なクルマ社会を実現するため、自動運転につながる技術開発を強化してきました。これまで以上に開発を加速させるため、積極的な社外連携を行っていきます。



5 秋田県湯沢市で「ライフビジョン」のサービス開始

秋田県湯沢市が行う高齢世帯約80世帯を対象にした実証試験事業(湯沢市高齢者等生活支援システム実証試験業務)において、「ライフビジョン」のサービス提供を開始しました。ライフビジョンは、タブレット端末を利用したシステムで、地域情報の配信、災害時の緊急情報配信、高齢者の見守りなどが可能です。これまでも2つの自治体で運用を開始するなど、全国で少子高齢化が進む中で、街と人、人と人をつなぎ、コミュニケーションの活性化に寄与していきます。

ライフビジョン特設サイト：<http://www.lifevision.net/>

ライフビジョン

「ライフビジョン」の機能イメージ



地域情報

防災対策

高齢者支援

子育て支援

6 初の統合報告書として「アニュアルレポート2016」を公開

「アニュアルレポート2016」をウェブサイト上にて公開いたしました。社会への価値提供という視点から、デンソーの価値創造プロセス、事業活動、事業を支える基盤としてのガバナンス等を幅広く紹介しています。事業活動を通じて、社会課題の解決に取り組み、よりよい社会を実現することを目指すデンソーの理念と行動のプロセスをご覧ください。

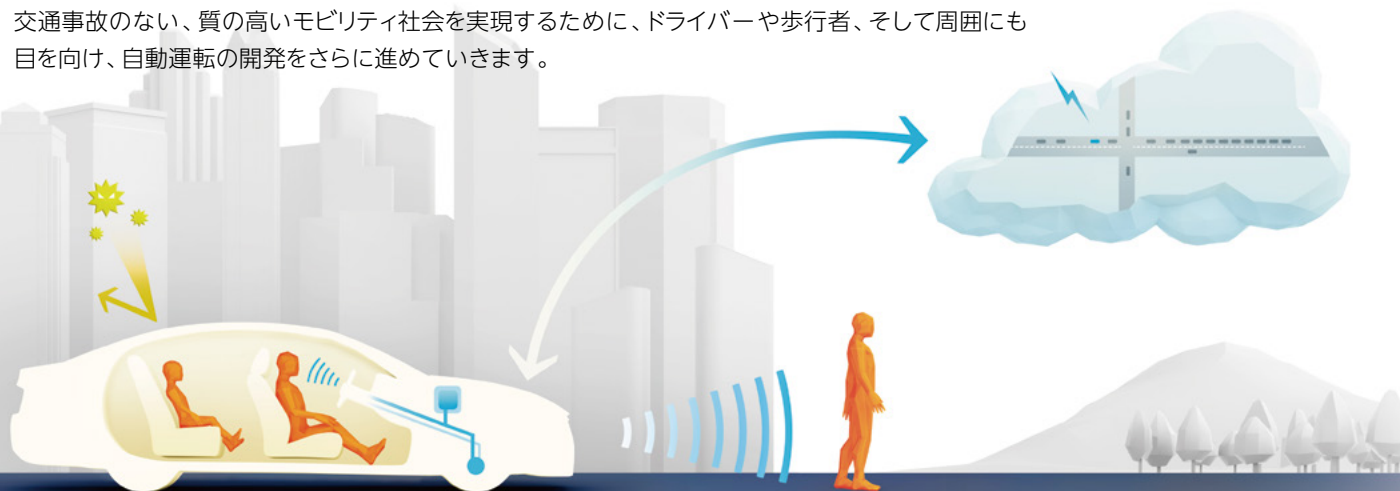
http://www.denso.co.jp/ja/investors/library/annual_report/index.html



特集 安心・安全分野での取り組み

目指す姿

デンソーは誰よりも「安心」「安全」にこだわり、品質と信頼性の高い安全技術に取り組んできました。交通事故のない、質の高いモビリティ社会を実現するために、ドライバーや歩行者、そして周囲にも目を向け、自動運転の開発をさらに進めていきます。



開発ロードマップ



5つの注力技術

ADAS/ADサイト: <http://www.globaldenso.com/ja/innovation/technology/adas/>



デンソーは高度運転支援や自動運転を実現するために、重要な5つの技術分野の開発に注力しています。また、それらを総合的に活用した開発が可能です。

周りを見る



クルマの周辺の環境を正確に認識し、ヒトの視覚能力を超える知覚を提供

先を読む



見えない遠くの場所の情報でも、より早く、より正確にドライバーへ提供

人とつながる



人とクルマのコミュニケーションを高めることで安心の移動空間を提供

もしもに備える



万が一の問題があったときも、運転を持続できる仕組みを提供

サイバー攻撃から守る

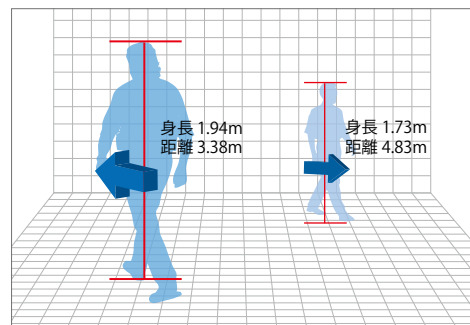


クルマを守る高度な情報セキュリティ化技術を提供

周りを見る 開発事例：人工知能(AI)を活用した、「どのような歩行者か」を認識する技術

自動運転の実現に向けては、「単に歩行者がいること」の認識だけではなく、「その歩行者がどのような状況にあるのか」を認識し、その後の行動予想を行わなければなりません。デンソーでは、人工知能(AI)を活用したディープラーニングにより、複雑な画像認識ができる手法を開発しました。例えば、歩行者を検知し、身長やクルマとの距離だけでなく、体の向きを推定します。これにより、その後の歩行者の行動を予測することが可能になります。将来的には、「携帯電話を見ているからクルマに気づいていないかもしれない」という、人間が行うような判断をも可能にしたいと考えています。

AIサイト: <http://www.globaldenso.com/ja/innovation/technology/ai/>



地域別売上収益 (当社グループの所在地別)

● 欧州

売上収益 2,802億円
 前年同期比 〇5.1%減
 連結子会社 35社

● 北米

売上収益 5,166億円
 前年同期比 〇7.3%減
 連結子会社 28社

● 日本

売上収益 12,923億円
 前年同期比 〇0.7%増
 連結子会社 62社

● アジア

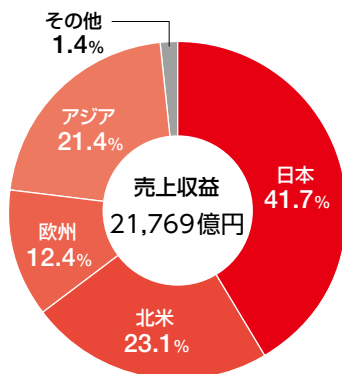
売上収益 5,393億円
 前年同期比 〇6.3%減
 連結子会社 58社

● その他*

売上収益 305億円
 前年同期比 〇5.4%減
 連結子会社 6社

※南米等

(注)セグメント間の内部売上収益を含む売上収益



(注)外部顧客に対する売上収益の比率

ポイント

- 日本では、為替の影響があるものの、車両生産の増加により、増収となりました。
- 海外では、車両生産の増加や拡販があったものの、為替の影響により、減収となりました。

製品別売上収益

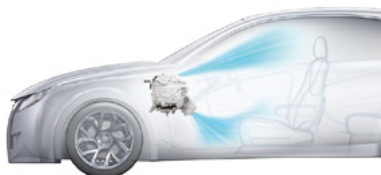
パワトレイン

売上収益 7,740億円
前年同期比 ▲ 3.0%減



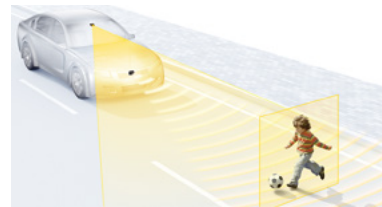
熱

売上収益 6,634億円
前年同期比 ▲ 6.2%減



情報安全

売上収益 3,552億円
前年同期比 ▲ 9.6%増



電子

売上収益 1,807億円
前年同期比 ▲ 2.6%減



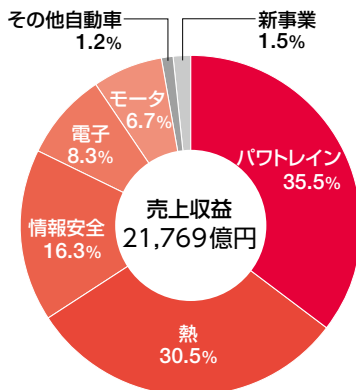
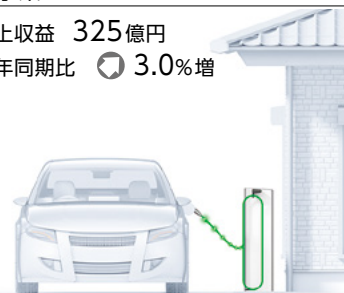
モータ

売上収益 1,450億円
前年同期比 ▲ 6.1%減



新事業

売上収益 325億円
前年同期比 ▲ 3.0%増



ポイント

- パワトレイン製品は、アジア地域や欧州での車両生産が増加したものの、為替の影響により、減収となりました。
- 熱製品は、中国や欧州での車両生産増加や、エアコン製品の拡販があったものの、為替の影響により、減収となりました。
- 情報安全製品は、日本や北米での車両生産増加や、予防安全製品の拡販により、増収となりました。

主な得意先

トヨタ自動車(株)、本田技研工業(株)、フィアット・クライスラー、GM、フォード、現代・起亜、マツダ(株)、スズキ(株)、ダイハツ工業(株)、富士重工業(株)、フォルクスワーゲン・アウディ、日産自動車(株)、日野自動車(株)、いすゞ自動車(株)、BMW、三菱自動車工業(株)、メルセデス・ベンツ、ボルボ、PSAグループ、ジャガーランドローバー 他

四半期連結財務諸表

国際会計基準(IFRS)に基づいて作成しています。

連結財政状態計算書 (単位:百万円)

科目	2016年度 第2四半期末	2015年度末	科目	2016年度 第2四半期末	2015年度末
資産			負債及び資本		
流動資産	2,155,717	2,397,212	流動負債	1,077,067	1,257,345
現金及び現金同等物	677,514	672,482	社債及び借入金	134,559	261,973
営業債権及びその他の債権	771,718	826,687	営業債務及びその他の債務	797,282	812,936
棚卸資産	450,564	476,574	その他の金融負債	12,478	12,333
その他の金融資産	200,516	356,815	未払法人所得税	23,312	36,494
その他	55,405	64,654	引当金	67,231	86,750
			その他	42,205	46,859
非流動資産	2,586,758	2,645,684	非流動負債	515,655	530,516
有形固定資産	1,399,150	1,425,567	社債及び借入金	209,335	214,638
無形資産	21,595	21,156	その他の金融負債	10,953	10,099
その他の金融資産	1,007,565	1,037,672	退職給付に係る負債	232,373	231,120
持分法で会計処理されている投資	69,272	71,096	引当金	1,584	2,152
退職給付に係る資産	23,337	25,791	繰延税金負債	44,226	54,417
繰延税金資産	40,458	40,464	その他	17,184	18,090
その他	25,381	23,938			
資産合計	4,742,475	5,042,896	負債合計	1,592,722	1,787,861
			資本		
			親会社の所有者に帰属する持分	3,034,144	3,123,578
			資本金	187,457	187,457
			資本剰余金	265,985	267,640
			自己株式	△10,618	△246,486
			その他の資本の構成要素	290,293	422,205
			利益剰余金	2,301,027	2,492,762
			非支配持分	115,609	131,457
			資本合計	3,149,753	3,255,035
			負債及び資本合計	4,742,475	5,042,896

連結損益計算書 (単位:百万円)

科目	2016年度 第2四半期累計	2015年度 第2四半期累計
売上収益	2,176,914	2,228,462
売上原価	△1,834,385	△1,858,052
売上総利益	342,529	370,410
販売費及び一般管理費	△203,590	△203,196
その他の収益	18,561	6,785
その他の費用	△14,802	△25,963
営業利益	142,698	148,036
金融収益	18,315	19,319
金融費用	△5,418	△4,754
為替差損益	△7,694	777
持分法による投資損益	2,650	3,455
税引前四半期利益	150,551	166,833
法人所得税費用	△46,927	△46,273
四半期利益	103,624	120,560
四半期利益の帰属		
親会社の所有者に帰属	97,495	113,050
非支配持分に帰属	6,129	7,510

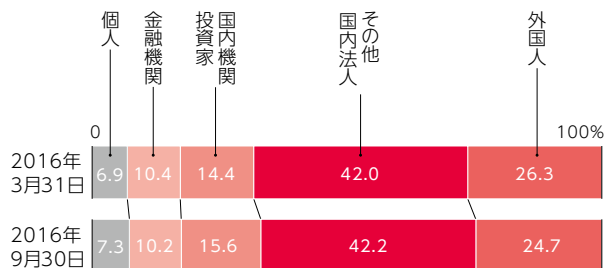
連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科目	2016年度 第2四半期累計	2015年度 第2四半期累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	225,002	269,760
投資活動によるキャッシュ・フロー	△46,801	△576,431
財務活動によるキャッシュ・フロー	△152,196	△43,210
現金及び現金同等物に係る換算差額	△20,973	△10,704
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,032	△360,585
現金及び現金同等物の期首残高	672,482	792,414
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加	—	106
現金及び現金同等物の四半期末残高	677,514	431,935

株式の状況 (2016年9月30日現在)

発行可能株式総数	1,500,000,000 株
発行済株式総数	794,068,713 株
株主数	65,480 名

株式保有者別分布状況 (議決権比率、%)



会社の概要

会社データ

社名	株式会社デンソー
本社所在地	〒448-8661 愛知県刈谷市昭和町1-1 電話 0566-25-5511 (案内)
設立年月日	1949年12月16日
資本金	1,874億円
従業員数(連結)	151,775名(就業人員ベース) (2016年3月31日現在)

役員 (2016年9月30日現在)

取締役

取締役会長	加藤 宣明*1	取締役	安達 美智雄
取締役副会長	小林 耕士*1	取締役	若林 宏之
取締役社長	有馬 浩二*1	取締役	岩田 悟志
取締役副社長	宮木 正彦*1	取締役	伊藤 正彦
取締役副社長	丸山 晴也*1	取締役	George Olcott*2
取締役副社長	山中 康司*1	取締役	名和 高司*2
取締役	槇野 孝和		

*1 代表取締役 *2 社外取締役

大株主 (上位10名)

大株主名	持株数 (千株)	議決権比率 (%)
トヨタ自動車株式会社	196,115	24.82
株式会社豊田自動織機	69,373	8.77
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	34,784	4.40
東和不動産株式会社	33,309	4.21
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	28,761	3.63
日本生命保険相互会社	21,645	2.73
アイシン精機株式会社	12,518	1.58
デンソー従業員持株制度会	12,485	1.58
三井住友海上火災保険株式会社	10,604	1.34
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	8,292	1.04

監査役

常勤監査役	岩瀬 正人	監査役	吉田 守孝*3
常勤監査役	新村 淳彦	監査役	齋藤 勉*3
		監査役	近藤 敏通*3

専務役員

槇野 孝和*4	伊藤 正彦*4	村上 幸彦	*3 社外監査役
安達 美智雄*4	加藤 俊行	伊奈 博之	
若林 宏之*4	臼井 定広	都築 昇司	
岩田 悟志*4	下川 勝久		*4 取締役兼務

常務役員

桑村 信吾	山口 真介	中川 雅人
加藤 之啓	梶田 宜孝	下方 敬子
加藤 良文	海老原 次郎	山内 豊
篠原 幸弘	Jack Helmboldt	飯田 寿
木村 和昌	石塚 裕二	Marco Di Rao Marotta
近藤 文一	山崎 康彦	林 新之助
鶴田 真徳	佐藤 久彰	影山 照高
飯田 康博	隈部 肇	向井 康
伊藤 健一郎	松井 靖	竹内 克彦
松木 秀明	武内 裕嗣	

株式の諸手続きに関するご案内

事業年度：4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会：6月
 配当金支払株主確定日：3月31日（中間配当を実施する場合は9月30日）
 単元株式数：100株
 証券コード：6902
 株主名簿管理人：三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座管理機関：三菱UFJ信託銀行株式会社

単元未満(100株未満)の株式をご所有の株主様へ

当社株式の単元株は100株であり、単元未満株式は市場で売買できませんが、以下お手続きが可能です。

	制度の内容	例：株主様が80株をご所有の場合
買取制度	単元未満株式を当社に市場価額でご売却いただける制度	<p>株主様(80株) → 80株 買取請求 → デンソー → 買取代金 支払 → 株主様(0株) デンソー ← 80株 譲渡 ←</p>
買増制度	単元未満株式を1単元(100株)にするために、不足分を当社から市場価額でご購入いただける制度	<p>株主様(80株) → 20株 買増請求 → デンソー → 買増代金 支払 → 株主様(100株) デンソー ← 20株 譲渡 ←</p>

株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きで必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

◎マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先は、下記の通りです。

ご所有株式の口座区分	お問い合わせ先
証券口座	口座を開設されている証券会社
特別口座 <small>(証券会社等で当社株式を ご所有されていない株主様)</small>	三菱UFJ信託銀行株式会社 連絡先：三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)

株式に関するお問い合わせ先について

◎配当金受取方法の指定(変更)・買取(買増)請求・住所変更等各種お手続きの窓口は、株式をご所有いただいている口座区分により異なります。

ご所有株式の口座区分	お問い合わせ先
証券口座	口座を開設されている証券会社
特別口座 <small>(証券会社等で当社株式を ご所有されていない株主様)</small>	三菱UFJ信託銀行株式会社 連絡先：三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)

株式会社 デンソー

〒448-8661 愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地
 TEL.0566-25-5511(案内)
 www.denso.co.jp



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
 環境に配慮したFSC® 認証紙と植物油インキを使用しています。